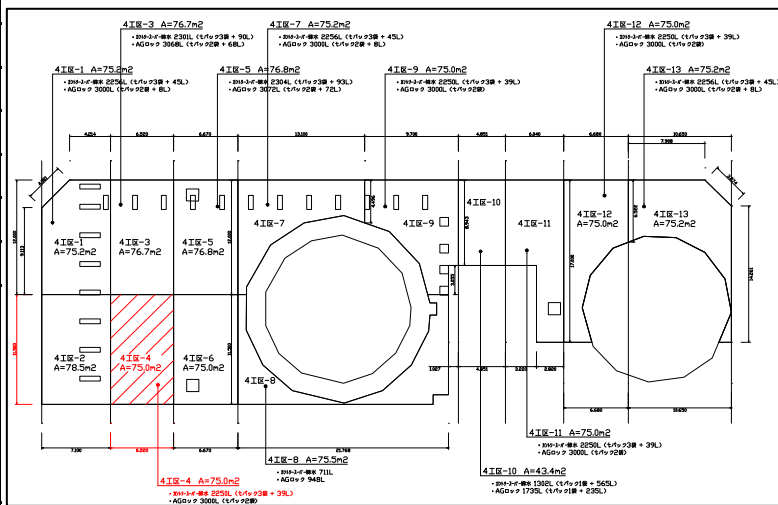


| | |
|-------------------------------------|---------|
| 技術名 下水汚泥等を高温発酵させた安全・安価な堆肥 | 登録 No. |
| | 18D2018 |

| | |
|------|------------------------------|
| 施工内容 | |
| 施工年度 | 平成23年度 |
| 発注機関 | 流域下水道事務所 |
| 工事名 | 阿賀野川流域下水道新井郷川処理場内整備(植栽)その2工事 |
| 施工地 | 阿賀野川流域下水道新井郷川処理場 |
| 施工数量 | tパック45袋(737ℓ入) 小袋34袋(17ℓ入) |

新技術の概要
 本材料は、下水道汚泥等にYM菌を加え、エアレーションによる好気発酵を行い生産した堆肥である。独自の設備・技術により90度前後の高温発酵(通常60度前後)させ雑菌等を死滅させた安全な下水道汚泥コンポストであり、発酵期間の短縮等により安価となっている。



トライアル工事での評価結果

| 比較した従来技術 | 嫌気性発酵による下水汚泥のコンポスト化 | |
|----------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 項目 | 評価 | 評価内容 |
| 経済性 | ○ | 従来の材料と比較して約15%コスト縮減が図られている。 |
| 工程 | □ | 現地土と混合する施工手順は変わらず、工程の短縮は見られない。 |
| 品質出来形 | □ | 従来技術と比較して、植物の3大要素である窒素が1.2倍多く含まれている。 |
| 安全性 | □ | 90°以上の高温発酵の為に雑菌の多くが死滅し、作業員の安全性が高まる。 |
| 施工性 | □ | 従来技術と変わらない。 |
| 環境 | □ | 悪臭とされる肥料臭がわずかなものであり、第三者からの苦情の心配がなかった。 |
| その他 | 少量でも配送可能であり、地産・地消の環境型社会に貢献できる。 | |

◎:優れている ○:やや優れている
 □:従来技術と比べて同程度
 △:やや劣っている ×:劣っている

| | |
|---------|--|
| 活用上の留意点 | |
|---------|--|

| | |
|-----------|--------------|
| 新技術問い合わせ先 | |
| 会社名 | 緑水工業株式会社 |
| 所属部課 | 総務課 |
| 担当者 | 家老俊一 |
| TEL | 0258-24-0800 |

土壤改良材配置完了



土壤改良材配散布状況



活用調査表

様式6

| | | |
|-----|--|---------|
| 技術名 | 下水汚泥等を高温発酵させた安全・安価な堆肥 (かんとリースーパー緑水) | 登録 No. |
| | | 18D2018 |

| | |
|------|-------------------------------|
| 施工内容 | |
| 施工年度 | 平成21年度 |
| 発注機関 | 流域下水道事務所 |
| 工事名 | 西川流域下水道(西川処理区)西川処理場場内整備(植栽)工事 |
| 施工地 | 新潟市笠木(西川処理場) |
| 施工数量 | 15kg袋 410袋 |

新技術の概要

下水道汚泥等にYM菌を加え、エアレーションによる好気発酵を行い生産した堆肥。独自の設備・技術により90度前後の高温発酵(通常60度前後)させ雑菌等を死滅させた安全な下水道汚泥コンポストであり、発酵期間の短縮等により安価となっている。

トライアル工事での評価結果

| | | |
|-----------|---|---------------------------------|
| 比較した従来技術 | | 嫌気性発酵による下水汚泥のコンポスト化 |
| 項目 | 評価 | 評価内容 |
| 経済性 | ○ | 発酵期間の短縮等で、従来製品に比べ約15%低コスト。 |
| 工程 | □ | 従来技術と変わらない。 |
| 品質 出来形 | □ | 窒素・リン酸成分が従来製品よりやや多いため、植物の生育が良い。 |
| 安全性 | □ | 従来技術と変わらない。 |
| 施工性 | □ | 従来技術と変わらない。 |
| 環境 | □ | 従来技術と変わらない。 |
| その他 | 高温発酵で雑菌が死滅しているため、製造や使用にあたり安全な材料である。 産業廃棄物を有効利用しており、循環型社会に適応している。 | |

◎: 優れている ○: やや優れている
□: 従来技術と比べて同程度
△: やや劣っている ×: 劣っている

| | |
|---------|--|
| 活用上の留意点 | 現地土壌を調査し、下水汚泥コンポストの混合量を検討する。 窒素・リン酸成分を従来技術より多く含むため、施肥量に注意する必要がある。 |
|---------|--|

新技術問い合わせ先

| | |
|------|--------------|
| 会社名 | 緑水工業株式会社 |
| 所属部課 | 総務部 |
| 担当者 | 家老俊一 |
| TEL | 0258-24-0800 |

YM菌による高温発酵

搬入された汚泥にYM菌を入れ、ショベルカーで繰り返しかき混ぜて発酵させる。



腐熟工程

汚泥がさらさらの状態になるまで、更に発酵腐熟させる。



土壌改良材散布状況

